
PRESS RELEASE

ロンドン、2025年5月19日 06:00

プラチナ市場の供給不足が深刻化: 2025年に3年連続の供給不足、現在は30トンの見込み

- 2025年の総供給量は4%減の218トンと予想され、過去5年間で最低
- 中国のプラチナ宝飾品需要の回復により、今年の世界宝飾品需要は5%増と予想
- 市場の不確実性にもかかわらず、自動車需要は底堅く、2025年通年では2%減の95トンと予想
- 中国における地金とコインの高い需要に支えられ、堅調な投資需要が続く、2025年には21トンに達すると予想
- 地上在庫は2025年には67トンに減少し、需要をカバーできるのはわずか3か月分となる

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのCEOであるトレバー・レイモンドのコメント: 「今日の地政学がもたらす不確実性とは無関係に、プラチナ市場は構造的な不足に陥っている。米国政府の関税政策に対する新たなアプローチが実施され始めても、プラチナの多様な需要はかなりの底堅さを維持すると考えられる。同時に、プラチナ鉱山の供給が引き続き下振れリスクに直面していることも広く認識されている」

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC®) は本日、2025年第1四半期のPlatinum Quarterlyを発表し、2025年の通年予想を修正した。

2025年第1四半期の世界需要は前年比10%増の71トン記録した。これは堅調な投資需要によるもので、その主な要因は、関税関連の不確実性とロケーション・プレミアムの拡大が米国への金属流入の増加を促したため、取引所で保有されるプラチナの在庫量が急増したことである。投資需要の増加は、自動車および工業用需要の落ち込みを相殺した。一方、プラチナの総供給量は10%減の45トンとなった。これは、季節的に鉱山生産が低調な四半期であったため、リサイクル量が前年比でわずかに回復したものの、これを相殺できなかったことを反映している。その結果、2025年第1四半期は25トンの不足となり、四半期ベースでは過去6年間で最大の不足となった。

供給量の減少は2025年通年でも顕著なテーマであり、総供給量は前年比4%減の218トンと、過去5年間で最低の水準になると予想される。宝飾品と投資の伸びが自動車と工業用需要の減少を相殺しきれないため、2025年の需要は4%減の248トンになると予想される。しかし、これは前回の需要予測より4トン多く、2025年の年間の不足の予測は3年連続で30トンとなった。

2025年に鉱山供給量が大幅に減少

第1四半期の鉱山総供給量は前年比13%減の34トンと、2020年第2四半期以来の低水準となった。ロシアを除くすべての主要産出地域が低迷するなか、南アフリカが減少の大部分を占め、第1四半期に異常な豪雨に見舞われたため、精製量は前年比10%減の22トンとなった。鉱山供給量の減少は、前年同期比で2%増の12トンとなったリサイクルの増加によって一部相殺された。

その結果、2025年第1四半期の総供給量は前年比10%減の45トンとなった。

2025年第1四半期における鉱山供給量の前年比減少の大きさは、主に短期的な混乱によるものであった。ただし、2025年の残りの期間を通じて多少の回復が見込まれるものの、通年の総鉱山供給量は169トン（6%減）にとどまり、新型コロナパンデミック以前の5年間の平均を22トン（11%）下回ると予想される。

2025年の世界のリサイクル量は、使用済み自動車触媒の供給が若干改善するため、前年比3%増の49トンとなり、緩やかな回復を示すと予測される。全体的に、2025年の総供給量は4%減の218トンになると予想される。

地上在庫は2025年には31%減の67トンになると予想され、その結果、需要をカバーできるのはわずか3か月分となる。

宝飾品の需要回復が持続し、2025年には5%増が見込まれる

2025年第1四半期のプラチナ宝飾品需要は、インドを除く全地域で増加し、9%増の17トンとなった。

プラチナは金に対する割安感から恩恵を受け続け、2025年通年の宝飾需要は2024年に続いて回復し、前年比5%増の66トンになると予想される。中国では好調な需要の伸びが予想され、前年比15%増の15トン、欧州での需要は7%増で、過去最高を記録すると予想されている。北米でも需要増加（8%）が見込まれる。インドでの需要は軟化する見込みで、米国の関税政策の不確実性のなかで輸出が減少するため、前年比10%減の7トンになると予想される。

市場の不確実性にもかかわらず、自動車需要は引き続き底堅い

米国の関税政策が引き続き不透明であったものの、2025年第1四半期の自動車用プラチナ需要は比較的底堅く、前年比4%減の23トンとなる。

この底堅さは現在の通期見通しにも反映されており、自動車需要はわずか2%減の95トン（過去5年間の平均を約11%上回る）と予想されている。バッテリー式電気自動車の需要の伸びが予想より遅いことを背景に、小型車需要が横ばい、ノンロード需要が2%増となり、大型車需要の7%減を部分的に相殺すると予想される。

2025年の投資需要は堅調、中国における地金とコインの需要は48%増

2025年第1四半期のプラチナ投資需要は、前四半期比28%増の14トンであった。その主な要因は、関税関連の不確実性とロケーション・プレミアムの拡大が米国への金属流入の増加を促し、同四半期に約11トンの流入があったため、取引所で保有されるプラチナの在庫量が急増したことである。地金とコインの需要も増加し、前年比17%増の2トンとなった。投資用の500g未満のプラチナ地金については、中国での購入量が記録的な高水準となり、前年比140%増の1トンとなって他の地域の減少を相殺した。

総投資需要は、第1四半期に見られた例外的な取引所への流入が緩やかになるにつれて、2025年には前年比2%減の21トンになると予想される。特筆すべきは、中国での48%増と北米市場の成長回復（18%増）により、地金およびコインへの投資が30%増の8トンまで高まると予想されることである。中国における500g以上の地金の需要は増加し続け、6トン（15%増）に達すると予想される。

循環的なガラス生産能力拡大が先細り、工業需要は縮小

2025年第1四半期の工業用プラチナ需要は前年比22%減の16トンであった。水素（159%増の0.7トン）、石油（25%増の2トン）、医療用（3%増の2トン）、電気用（3%増の0.7トン）は、生産能力増強の周期的減少によるガラス需要の81%減を上回ることはできなかった。

工業用需要は2025年通年で15%減の66トンになると予想されるが、これは主にガラス需要が減少し、58%減の9トンになると予想されるためである。石油（25%増の6トン）、水素（35%増の2トン）、医療用（4%増の10トン）、電気用（2%増の3トン）の増加が相殺され、化学製品需要は6%減の18トンになると予想される。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのトレヴァー・レイモンドCEOによるコメント:

「今日の地政学がもたらす不確実性とは無関係に、プラチナ市場は構造的な不足に陥っている。米国政府の関税政策に対する新たなアプローチが実施され始めても、プラチナの多様な需要はかなりの底堅さを維持すると考えられる。同時に、プラチナ鉱山からの供給が引き続き下振れリスクに直面していることも広く認識されている。

「米国の自動車産業にとってプラチナは戦略的に重要であるため、2025年にはプラチナが米国の関税対象から除外されているかもしれない。NYMEXが承認した倉庫からはまだ9トン以上のプラチナ過剰在庫が撤去されていないことから、市場にはさらなる関税リスクに対する懸念が残っていることが考えられ、世界の経済活動を軟化させる貿易規制の広範な影響が、2025年の30トンの不足を大幅に減少させる可能性は極めて低い。

「この3年連続の不足における市場の逼迫は、プラチナ価格には反映されていないようだが、プラチナリース料の上昇には反映されており、これはエンドユーザーへのプラチナ貸出を促進する効果がある。これは、借り手が市場で金属を購入し、貸し手に返却してローンを清算するまでの間、プラチナの一時的な供給源として機能する。現在の価格で、その時点で十分なプラチナが入手できるかどうかはまだわからない」

プラチナ需給バランス (トン)		2021	2022	2023	2024年5年予想	2024年／2023年成長率 (%)	2025年予想／2024年成長率 (%)	24年第1四半期	24年第2四半期	24年第3四半期	24年第4四半期
供給											
製錬高		196	172	174	179	169	3%	-6%	38	48	34
	南アフリカ	146	122	123	129	120	4%	-6%	25	36	22
	ジンバブエ	15	15	16	16	15	1%	-4%	4	4	4
	北米	8	8	9	8	6	-8%	-26%	2	2	2
	ロシア	20	21	21	21	21	0%	1%	6	5	6
	その他	6	6	6	6	6	0%	0%	1	1	2
生産者製品在庫における増減 (+/-)		-3	+1	+0	+0	+0	+0	-100%	+1	-1	-1
鉱山からの総供給量		193	173	175	180	169	3%	-6%	39	47	34
リサイクル		66	57	47	48	49	1%	3%	11	13	12
	自動車触媒	50	43	35	36	37	4%	4%	8	10	9
	宝飾品	13	12	10	9	9	-10%	-2%	3	2	2
	工業	2	2	2	2	3	7%	7%	1	1	1
総供給量		258	230	222	227	218	3%	-4%	50	61	45
需要											
自動車		76	86	100	97	95	-3%	-2%	24	25	23
	自動車触媒	76	86	100	97	95	-3%	-2%	24	25	23
	ノンロード	†	†	†	†	†	N/A	N/A	†	†	†
宝飾品		61	58	58	62	66	9%	5%	15	16	17
工業		80	73	80	77	66	-3%	-15%	21	17	16
	化学	21	21	26	19	18	-27%	-6%	6	4	5
	石油	5	6	5	5	6	0%	25%	1	1	2
	電気	4	3	3	3	3	5%	2%	1	1	1
	ガラス	25	16	19	21	9	14%	-58%	7	4	1
	医療	8	9	9	10	10	6%	4%	2	2	2
	水素エネルギー社会	1	0	1	1	2	92%	35%	0	0	1
	その他	16	17	18	18	18	2%	-1%	4	4	4
投資		-0	-16	12	22	21	77%	-2%	4	11	14
	地金およびコインの増減	11	8	10	6	8	-40%	30%	2	2	2
	中国における500g以上の地金	1	3	4	5	6	20%	15%	2	1	1
	ETF保有高の増減	-7	-17	-2	9	3	N/A	-66%	0	4	-0
	取引所在庫の増減	-4	-10	0	2	5	244%	200%	-0	4	11
総需要		217	202	250	258	248	3%	-4%	64	69	71
残余量		42	28	-28	-31	-30	N/A	N/A	-14	-9	-25
地上在庫		*128	156	128	97	67	-24%	-31%			

出典: Metals Focus 2021 - 2025年予想

注:

- ** 2018年12月31日現在の地上在庫3,650 koz (Metals Focus)
- † ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれる

-以上-

メディア関連のお問い合わせ先: Elephant Communications:
wpic@elephantcommunications.co.uk

編集者への注記:

『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC）の刊行物です。WPICが委託し、プラチナ金属市場の権威ある独立機関であるMetal Focusが実施した調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

World Platinum Investment Council (WPIC®、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) について

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC）は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する投資家の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPICの使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPICは、南アフリカの主要プラチナ生産者によって2014年に設立されました。WPICの加盟会社は、Anglo American Platinum（アングロ・アメリカン・プラチナム）、Impalats、Northam Platinum（ノーザム・プラチナ）、Sedibelo Platinum（セディベロプラチナ）、Tharisa、Bravo Mining and Podium Mineralsです。

詳細は、ウェブサイトwww.platinuminvestment.comをご覧ください

WPIC ロンドン事務局所在地: World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

WPIC 上海事務所: World Platinum Investment Council, Unit 1612, Shui On Plaza, No. 333 Middle Huaihai Road, Huangpu District, Shanghai, P.R.China

Metals Focus について

Metals Focusは、世界の手貴金属コンサルティング会社の1つで、世界の金、銀、白金族金属（PGM）市場の調査を専門とし、定期的なレポート、予測、特注のコンサルティングを行っています。Metals Focusチームは8つの法域に分散し、世界中の多数の情報源を網羅しています。これを活かし、Metals Focusは、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに特化しています。

詳細情報は、ウェブサイトwww.metalsfocus.comをご覧ください。

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の1つで、独特の物性を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独自の特質を持つため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの2つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去5年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の72%～79%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資の4つです。

自動車触媒における過去5年間のプラチナ需要は、総需要量の29%から42%の間を推移しています。自動車以外の工業分野におけるプラチナの多様な使用は、世界総需要量の32%となっています（過去5年間の平均）。同様に、宝飾品における世界の年間総需要は、プラチナ総需要の平均26%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去5年間は総需要の-8%から21%を占めています（投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く）。

免責事項

World Platinum Investment CouncilおよびMetal Focusのいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください